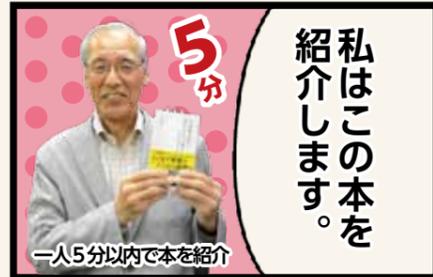


ビブリオバトルの流れ

自分の好きな本を選び、プレゼンテーションをして投票を行うビブリオバトル。おすすめの本への想いを5分にギュッと詰めて話します。発表者だけではなく、見ている人も新しい本との出会いが生まれる機会にもなります。



次回は **2017年2月9日** (木)
詳細は ☎ 049-258-6464 図書館まで



紹介した本
「旅猫レポート」
作：有川浩
よみ愛・読書の日
記念事業
ビブリオバトル
チャンピオン
鈴木茂美さん



が好きな母の影響があり、小さな頃から本を読むことが大好きです！小学生の時は1年生から卒業するまでずっと「としよかんくらぶ」の会員でした。本を読んでいる時が一番楽しいです。有川浩さんの作品が大好

きで、今回「旅猫レポート」を紹介しました。大勢の人の前で話すことはとても緊張しましたが、共感してもらい一番に選んでいただけてうれしかったです。私の夢は司書として三芳町の図書館で働くことです！

く大成する。戦国時代の武将の兜に三日月があるのはそのためなんです」と話すと、会場からは「おお！」という声。本を通じて雑学も知ることができ、絵本から小説までバラエティに富んだ本と出会うことができるビブリオバトル。この魅力を広く伝えることが町の未来に繋がると前出の阿部さんは話します。

①みよし読書愛好会の皆さん。三芳町図書館協議会委員の有志が集まり昨年設立しました。②定期的に行われているみよし読書愛好会の皆さんが主催するビブリオバトルの様子。「人前で話すときはいつも緊張します」と会長の阿部英雄さん。③紹介本を手にしなが、ついつい話に熱が入ります。④「借金の代わりに渡したいちじくがなんとこのあと!!」と続きが気になるように話す内容も工夫をし、それも腕の見せ所となっています。



よみ愛・読書のまちな
記念事業を開催
毎月23日は「よみ愛・読書のまちな」

日」。10月23日(日)に記念事業として「ビブリオバトルを楽しむ」を行いました。赤ちゃんからお年寄りまで誰もが生涯にわたり読書に親しみ、本を読み合う喜びを共有できるまち——。ビブリオバトル

はまさにびつたりりの事業。発表者として住民4人と町関係者3人の計7人が約40人の参加者の前で「読んでもらいたい本」を発表しました。最年少は藤久保中学校に通う鈴木茂美さん、最年長は阿部英

雄さん。本という共通のものがあれば、年齢の壁はありません。幅広い年代との交流や出会いできるのも魅力の一つです。「月の満ちかけ絵本」を紹介した発表者の一人、高久明利さん。「三日月は、将来大きく丸

①よみ愛・読書の日記念事業のビブリオバトルで発表した4人。②プレゼンタイムでは説明に思わず力が入ります。③傍聴者から発表者に鋭い質問が。④ビブリオバトル会場の様子。バラエティに富んだジャンルの本と出会うことができるのが人気の秘密。⑤優勝した鈴木茂美さん。緊張しながらも紹介本の魅力を伝えきりました。



お

気に入りの本を5分間で紹介し、ディスカッションを経て、どの本が一番読みたくなったのかを投票してチャンプ本を決める「ビブリオバトル」。三芳町でも昨年「みよし読書愛好会」が中心となって行っています。

「何か新しい読書会ができないかと考えたとき、全国的に広まりをみせている「ビブリオバトル」が良いのではと思い、有志を募ってボランティアサークルを作りました。それが『みよし読書愛好会』です」と話す同会長の阿部英雄さん。最初は身内だけで行っていました。回数を重ねていくうちに参加者が増えていきました。

「自分が好きな本をたくさんの人に読んでほしいという思いは誰にでもあると思います。その思いを人に伝えて、共感してもらい、自分が紹介した本に票が入るとうれいですね」とビブリオバトルの魅力阿部さんは語ります。

分間で紹介し、ディスカッションを経て、